

HiKOKI

取扱説明書

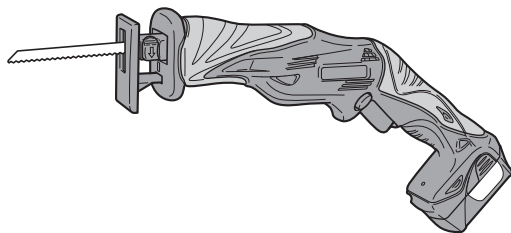
用途

- 各種木材の切断および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断

コードレスミニソー

10.8 V CJ 10DL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意…	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	7
各部の名称…	9
仕様…	10
別売部品…	12

使い方

基本機能について…	13
充電する…	15
ブレードの取付け・取りはずし…	17
ベース位置の調整…	18
切断する…	19
窓抜き…	21

その他

保守・点検…	23
ご修理のときは…	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

• 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。

異常に発熱し、火災の恐れがあります。

• 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。

また、破裂や火災の恐れがあります。

• 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。

• 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠ 警告

- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検・修理する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引いてコンセントから抜いたりしないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 落下など、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスミニソーについて、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確かめてください。**
埋設物があるとブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② **使用中は、機体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、ブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ④ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
- ⑤ **工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。**
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑥ **工具本体、および蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。**
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ③ 使用直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 機体の外枠にある風穴に異物を入れないでください。
モーターがロックし、故障の原因になります。
- ⑥ 機体で材料をたたき、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすことなどを
しないでください。
内蔵している精密部品が破損し、誤作動等をおこす原因になります。
- ⑦ ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。
- ⑧ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑨ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ⑩ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑪ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠️ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

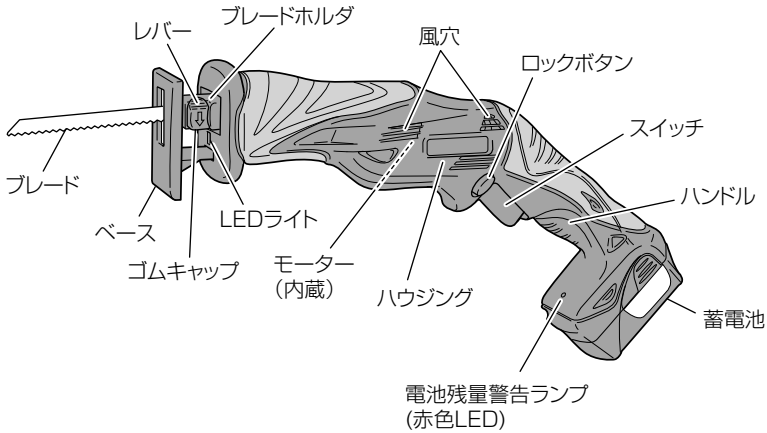


○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

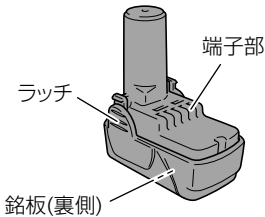
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

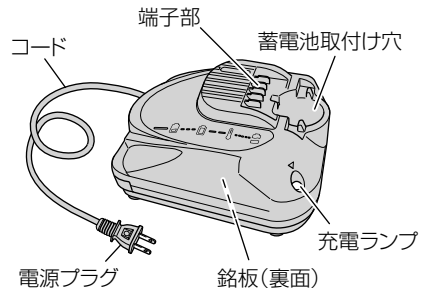
工具本体



蓄電池



充電器



標準付属品

品名・形名	仕様	LMSK	NN
蓄電池 BCL 1030C		1 個 (本体装着)	—
充電器 UC 10SL2		1 台	—
ブレード No.41(木工用)		1 本	1 本
六角棒スパナ 3 mm		1 個	1 個
収納ケース		1 個	—

仕様

1. 工具本体

形名	CJ 10DL
切断能力	木材:厚さ 50 mm 軟鋼板:厚さ 4 mm
モーター	直流モーター
無負荷ストローク	0 ~ 2,700 min ⁻¹ {回/分}
ストローク	13 mm
蓄電池	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	10.8 V
工具本体寸法 全長×高さ×幅	349×207×60 mm (BCL 1030C 装着時)
質量	1.2 kg (BCL 1030C 装着時)
電池残量警告ランプ	赤色 LED
LED ライト	白色 LED

2. 蓄電池

形名	BCL 1030C
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	10.8 V
容量	3.0 Ah
冷却	非対応

3. 充電器

形 名	UC 10SL2	
入 力 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
蓄 電 池 充 電 時 間 [※] 〔気温 20℃時〕	BCL 1030/BCL 1030C/BCL 1030M	約 60 分
	BCL 1015	約 30 分
	BCL 1015S	約 25 分
充 電 電 圧	10.8 V	
充 電 電 流	3.0 A	
コ ー ド	2 心ビニールコード	
質 量	0.35 kg	
使 用 温 度 範 囲	0℃～40℃	
充 電 ラ ン プ	赤色 LED	

※ 蓄電池の充電時間は、使用環境や蓄電池の状態により長くなるときがあります。

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

用途に応じた別売部品をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

各種ブレード

作業の能率や仕上げを良くするために、加工材の材質や厚さに適したブレードをお選びください。

- 注** ●表中に記載してあるブレードをご利用ください。表中以外のブレードも取付けできますが推奨はできません。
- 表中の最大加工物寸法は、ベースの取付け位置をミニソー本体に最も近い位置に取付けた場合の寸法です。ベースをミニソー本体から遠ざけて取付けた場合は、最大加工物寸法が小さくなりますのでご注意ください。
 - 加工物の形状・厚さと、ブレード形状の組み合わせによっては切断中にロックすることがありますのでご注意ください。

主要 切断 材料	ブレード No.	ブレード形状	山数/ 1インチ	全長 mm	切断能力 mm				
					木材 合板	塩ビ プラスチック アクリル	軟鋼板	ステンレス	アルミ 非金属
木 材	No.1		9山	88	20~35				
	No.2		12山	83	20以下	3~20			
	No.1 (ロング)		6山	160	50以下				
	No.1 (スーパロング)		6山	185	50以下				
	No.11		8山	105	10~50	5~20			
	No.31		9山	105	20~50				
	No.12		20山	77	20以下	10以下			
	No.21 (仕上用)		6山	105	10~50	5~20			
	No.22 (仕上用)		10山	105	5~40	3~15			
	No.41 (仕上用)		8山	116	10~50				
	No.1 (仕上用)		12山	82	8~30	3以下			
鉄 材	No.123X		10~21山	100			1.5~4		
	No.15		8山	77		5~15	3~4		3~8
	No.16		25山	77		5以下	3以下		3以下
ス テ ン レ ス	No.97		21山	77		5~15	2~4	1.5~2	5以下
	No.95		18山	83		5~20	3~4	1.5~2	3~6
合 成 樹 脂	No.4		13山	83		3~20			
FRP	グリッド		—	83	FRP 板厚 10 mm				

基本機能について

● 電池残量警告ランプについて

スイッチを引くと、蓄電池の残量を確認できます。

蓄電池の残量が少なくなると、警告ランプ(赤色LED)が点灯します。

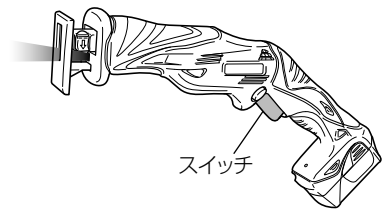
このときは、速やかに電池を充電してください。



- 注**
- 電池残量警告ランプが点灯するタイミングは、使用環境や蓄電池の状態により変化します。充電するときの目安としてお使いください。
 - 作業中に電池残量警告ランプが点灯する場合があります。これは一時的に電池電圧が低下したことによるものであり、電池残量が低下したことによるものではありません。
 - 蓄電池の残量確認は空回ししながら行ってください。

● LED ライトの使い方

スイッチを引いている間、自動的に LED ライトが工具先端部を照らします。

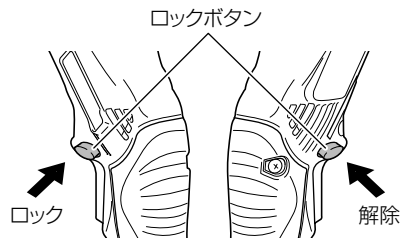


● スイッチロックについて

誤ってスイッチを引いてもモーターが起動しないように、スイッチロックが付いています。ロックボタンは、しっかりと押し込んでください。

- 注**
- 次の場合は必ず、ロックボタンをロック側に押し込んでください。
- 作業を中断および終了したとき
 - ブレードを取付け・取りはずすとき
 - ベースの位置を調整するとき
 - 保守・点検・保管するとき

- 注**
- ロックボタンは中間の位置でも止まりますが、しっかりと奥まで押し込んでください。



●スイッチで回転数を微調整

スイッチの引き込み量で無段階に回転数が変わります。切断開始時はスイッチを少し引いてゆっくりスタートしてお使いください。

また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

●変速スイッチについて

スイッチには回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。

スイッチの引き込み量が少ない状態（低速回転域）で切断作業を連続的に行うと、電子回路部品の温度が高くなり故障の原因になります。

●連続作業について

⚠注意

使用直後のブレードは高温になっているので触れないでください。
やけどの原因になります。

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を15分程度休ませてからご使用ください。

蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

●機体の保持と押し付け力について

ねじやボルトに対してまっすぐになるように、機体を両手で確実に保持してください。また、先端工具を必要以上に押し付ける必要はありません。先端工具にこじめる力や押し付ける力が過度にかけると、機体が故障する原因になりますのでご注意ください。

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

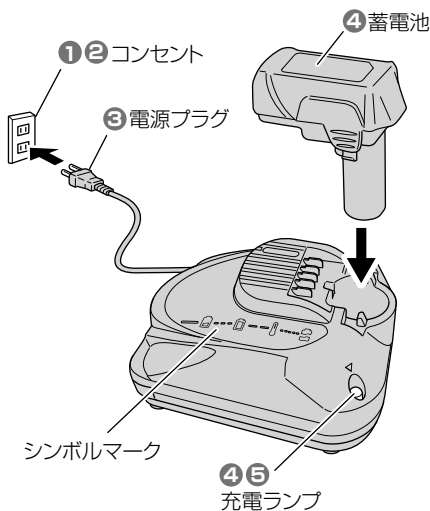
警告

手順①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間

BCL 1030C : 約 60 分

注 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。

2 コンセントを確認する

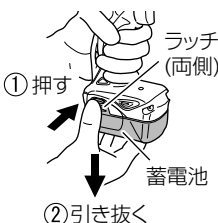
コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.16「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき












- 図のように蓄電池を充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。
- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」が付いています。
ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプの表示		本体 シンボルマーク	表示内容
点 滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	/	電源にさし込んだ状態 (蓄電池がさし込まれていない)
点 灯	連続点灯 		充電中
点 滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 		充電完了
遅い点滅	1 秒点灯 / 0.5 秒消灯 		蓄電池の温度が高くて充電できない。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 		充電器または蓄電池に異常あり

注 ● 充電ランプが速い点滅 (0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯) を繰り返すときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取り除いてください。

異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

● 電源プラグをコンセントにさし込んでも充電ランプが点滅しない場合、充電器の保護回路が作動している可能性があります。

電源から取りはずして約 30 秒後、再度電源につないでください。

それでも充電ランプが点滅しない場合、お買い求めの販売店にご持参ください。

● 一度充電が完了した後、次の充電まで 15 分程度休ませてください。

同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

● コードレス工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。

すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。

● コードレス工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。

● 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命が尽きたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。

寿命の尽きた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

ブレードの取付け・取りはずし

ツールレス着脱機構を搭載していますので、スパナやレンチなどの工具を使用しないで、ブレードの取付け・取りはずしができます。

⚠ 警告

- ブレードの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、ロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- ブレードを引くときは、必ずブレードの背面を引いてください。刃の付いている部分を引くと、けがの原因になります。

● ブレードの取付け

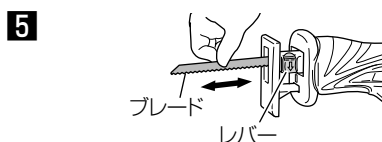
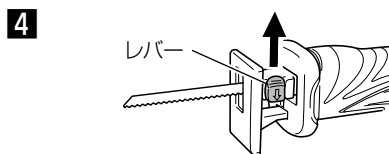
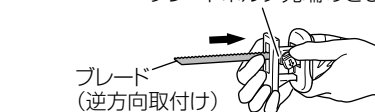
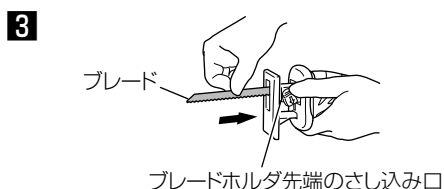
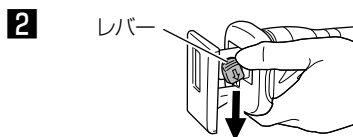
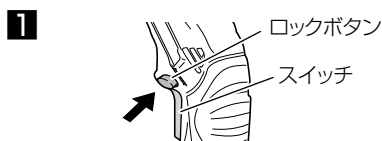
1 スイッチを切り、ロックボタンをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。

2 レバーを矢印の方向（レバーに刻印された矢印と同じ方向）に押し下げます。

3 レバーを押し下げたまま、ブレードをブレードホルダ先端のさし込み口一杯までさし込みます。（P.18「取付け・取りはずしのコツ」参照）
ブレードの向きは、作業に応じて上下どちらにも取付けできます。（図の下は逆方向取付け）

4 レバーから指をはなすと、スプリングの力で自動的に戻り、ブレードが固定されます。

5 ブレードの背面を指で2～3回引いて、確実に取付けられたことを確認してください。

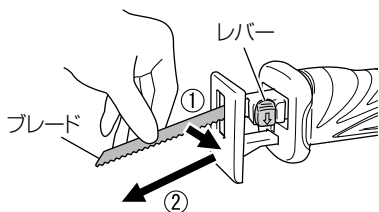


● ブレードの取りはずし

左ページブレード取付け手順 **1** - **2** の後、ブレードを下に向けてゆすり、落下させます。落下しない場合は、ブレードをレバー側に寄せて引き抜きます。

⚠ 注意

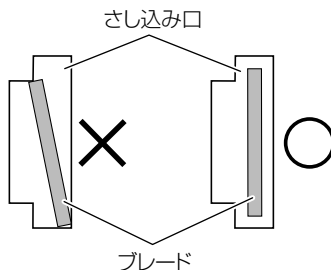
使用直後のブレードは高温になっているので触れないでください。やけどの原因になります。



● 取付け・取りはずしのコツ

ブレードの取付け・取りはずしがスムーズにできないときは、ブレードのさし込み口に対してブレードが左下図のようになっています。

右下図のようにすると、取付け・取りはずしがスムーズに行えます。



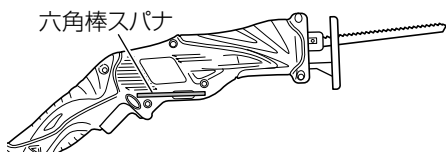
ベース位置の調整

付属の六角棒スパナを用いてベースの取付け位置を調節できます。切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調節してください。

1 ベース止めねじを付属の六角棒スパナでゆるめて、ベースの取付け位置を調整します。ベースは約 20 mm 移動できます。

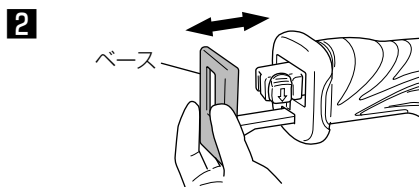
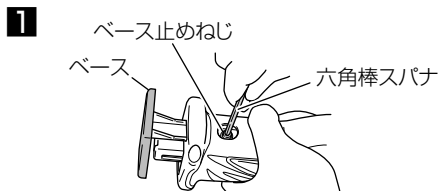
2 ベースを調整した後、ベース止めねじを付属の六角棒スパナでしっかりと締付けてください。

六角棒スパナは下図のように収納することができます。



⚠ 注意

ベース位置の調整の際は、必ずスイッチを切り、ロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具体体から抜いてください。



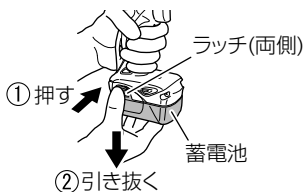
切断する

- 各種木材 ●軟鋼板、アルミ板など
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂

1

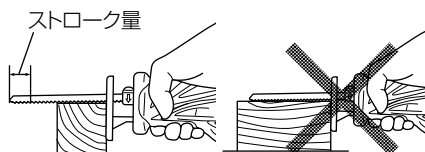
蓄電池を取りはずす

誤作動防止のため、ロックボタンをロック側(右側)に押し込み、蓄電池を工具体から抜いてください。
(P.13「スイッチロックについて」参照)



警告

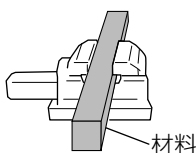
- ブレードの長さは、下図に示すようにストローク量(13mm)をさし引いたブレードのベースからの飛び出し長さが、切断材料より十分大きくなるように選んでください。
- ブレードの切断能力以上の大きい木材などを切断すると、ブレード先端が木材内部で突き当たって、ブレードを折損する恐れがあります。



2

切断材料を固定する

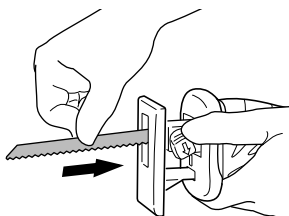
クランプや万力などで、切断材料がしっかり固定されているかを確認してください。



4

ブレードを取付ける

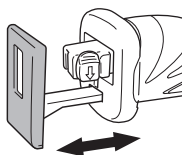
- 切断材料の材質・厚さ・大きさに適したブレード(種類・長さ)を使用してください。
(P.17「ブレードの取付け・取りはずし」参照)



3

ベース位置を調整する

切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調整します。
(P.18「ベース位置の調整」参照)



5 蓄電池を取付ける

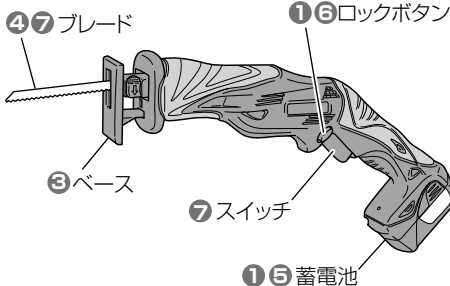
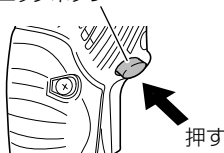
下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



6 スイッチロックを解除する

ロックボタンを解除側（左側）に押し込みスイッチロックを解除します。（P.13「スイッチロックについて」参照）

ロックボタン



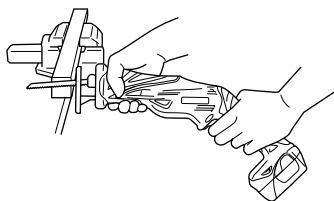
⚠️ 注意

- 作業中はベースを切断材料にしっかり押し当てて切断してください。しっかり押し当てないと振動により、ブレードを損傷することがあります。
- 切断時は、無理な力を加えないでください。ブレードを折損する恐れがあります。
- 小さな円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると、ブレードを折損する恐れがあります。

- 注**
- 切粉などがブレード取付け部周辺の凹部にたまるときには、その都度、掃除しながら作業してください。
 - 金属切断時は切削油を使用してください。切削油を使用しないと、ブレードの寿命が極端に短くなります。

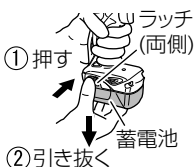
7 スイッチを入れる

- 切断箇所にブレード位置を合わせてベースを切断材料に押し当て、スイッチを引きます。
- 金属切断時には、切削油（タービン油など）を使用してください。



1 蓄電池を取付ける

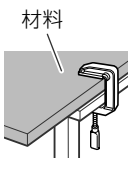
誤作動防止のため、ロックボタンをロック側(右側)に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。



(P.13「スイッチロックについて」参照)

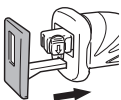
2 材料を固定する

クランプなどで、材料がしっかり固定されているかを確認してください。



3 ベース位置を調整する

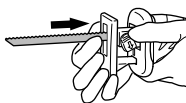
ベースを機体に一番近い位置にします。



(P.18「ベース位置の調整」参照)

4 ブレードを取付ける

•できるだけ短くて、厚いブレードをご使用ください。
(P.12「別売部品」参照)



•ブレードを上下逆向きに取り付けると開始穴があげやすくなります。
(P.17「ブレードの取付け・取りはずし」参照)

5 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



6 スイッチロックを解除する

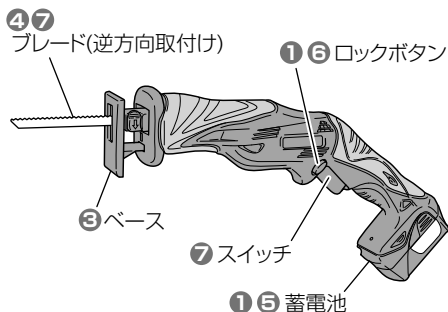
ロックボタンを解除側(左側)に押し込み、スイッチロックを解除します。



(P.13「スイッチロックについて」参照)

7 スイッチを入れる

- ハンドルをゆっくり持ち上げて、少しずつブレードを材料に切込みます。
(右ページの図 **1** → **2** 参照)
- ブレードが完全に材料を突き抜けるまで、しっかり機体を保持してください。
(右ページの図 **2** → **3** 参照)



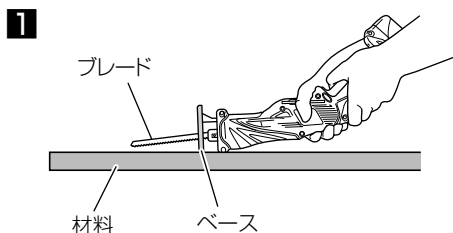
⚠ 警告

- 金属材料の窓抜きはしないでください。
ブレードを折損する恐れがあります。
- ブレードの先端を材料に押し付けた状態でスイッチを引かないでください。
ブレード先端が材料に勢いよく当たって、ブレードを折損する恐れがあります。
- 必ず機体をしっかり保持して、ゆっくりと作業してください。
無理な力を加えると、ブレードを折損する恐れがあります。

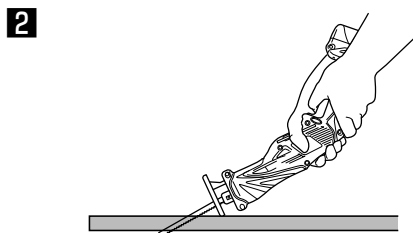
● 窓抜きのコツ

ブレードを逆方向に取付けると、機体をより寝せた状態で切込みを開始できるため(下図 **1** 参照)スムーズに窓抜きの開始穴をあけることができます。

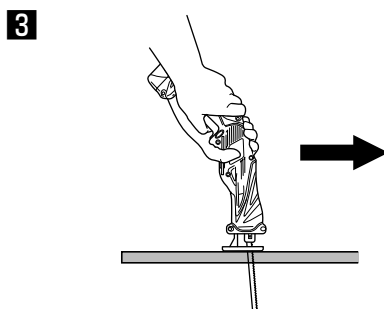
- 1** 材料にベースを押し当て、ブレードの先端を材料からはなした状態で、スイッチを引きます。



- 2** スイッチを軽く引き、スピードがゆっくりな状態で少しずつ穴をあけます。



- 3** スイッチを一杯に引き、少しずつ進めます。



保守・点検

⚠ 警告

保守・点検の際は、必ずスイッチを切り、ロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

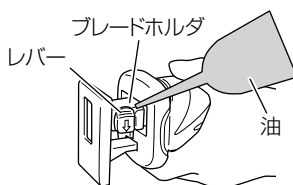
● ブレードの点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。早めに新品と交換してください。

● ブレード取付け部の掃除・注油

ブレード取付け部周辺の凹部に切粉・土・砂・水分などを付着したままにしておくと、ブレードホルダ周辺部がさびついて機体内部の故障の原因になります。

- ブレード取付け部をいつも円滑に動かすため、ご使用後は、切粉・土・砂・水分をブラシなどで掃除してください。
- 右図のように、ブレードホルダ周辺部に切削油などを定期的に注油してください。

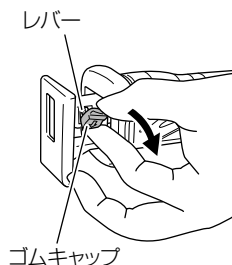


切粉や粉じんによりレバーの動きが重くなり、指先ではブレードを取りはずせなくなる場合があります。

このような場合は、レバーに付いているゴムキャップを右図の矢印方向に引いて、レバーからゴムキャップを取りはずしてください。

その後に、エアーなどでブレードホルダ内部を掃除し注油をしてください。ゴムキャップはレバーに強く押し付けて取付けます。

このとき、ブレードホルダとゴムキャップにすき間がないことを確かめた後、レバーが円滑に動くことを確認してください。



●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

- 注** ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●端子部の点検

工具本体や、蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかかる場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

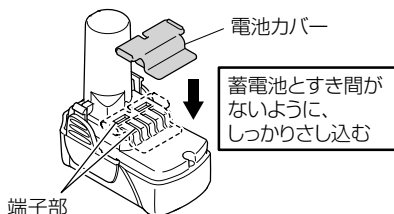


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3か月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

ご修理のときは


修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待たせする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>